

☆第2回恵庭子ども未来議会が開催されました☆

恵庭市制施行50周年事業の一環として開催されている「恵庭子ども未来議会」の第2回目が10月26日（月）に恵庭市議会の議場において開催されました。

市内中学校5校から選出された子ども未来議員のうち、各校の代表1名が市長及び教育長に対し一般質問を行いました。また、前回決定した子ども未来議長・副議長が順に議長席に座り、進行役を務めました。

恵明中学校 伊藤 颯菜 議員は、恵庭市の経済対策に関し、企業誘致の在り方としてのシェアオフィスや恵庭市独自の地域通貨の検討についてのほか、世代間交流のできる市民交流の場について質問を行いました。



柏陽中学校 茶園 奏子 議員は、観光客が集うまちづくりに関し、はなふるにおける飲食店等の整備やご当地グルメの開発についてのほか、市民が集うまちづくりについて質問を行いました。

恵北中学校 堀 周平 議員は、駅前の商業施設に関し、恵み野駅前の商業施設跡地の活用方法の計画や予定についてのほか、まちのバリアフリー化についてや、PR戦略について質問を行いました。



恵み野中学校 相良 優和 議員は、駅前の施設跡地に関し、多世代交流のできる複合施設の設置検討や恵み野地区の活性化についてのほか、図書推進におけるイベントの開催や施設の在り方についてや、郷土資料館の有効利用と周辺地域の活性化について質問を行いました。

恵庭中学校 廣島 未羽 議員は、中学生の居場所づくりに関し、中学生が自由に利用できる学習室や多目的室の設置検討についてのほか、子どもが安心して集える公園の整備についてや、いつでもスポーツできるまちづくりについて質問を行いました。



これらの質問に対し、市長は子ども未来議員に対する労いの言葉をかけ、教育長とともに丁寧な答弁を行いました。子ども未来議員たちは真剣にその答弁を聞いていました。



一般質問の終了後、恵庭市議会を代表して伊藤議長から講評がありました。伊藤議長は、「本日の皆さんの発言やその内容、正副議長の対応や進め方を拝見し、議会を継承するに十分な手応えを確信しました。今後も、日常の学校生活を十分に楽しみながら、少しだけで結構ですので、議会についても関心を持っていただけたら幸いです。」と話されました。



次回の子ども未来議会では、今回の一般質問の内容を踏まえて、市に対し「未来提言」をまとめ、発表します。

